

事業計画名

切削加工・塗装強化による 精密板金加工一貫生産体制の確立

汎用品の海外調達シフトに対応するため、NC旋盤および塗装設備の導入を図り、精密板金分野における高次元の一貫生産体制を構築。幅広い分野の多様な顧客ニーズに対してワンストップ対応が可能になった。

取り組みの背景

中小企業は特定分野に専門特化することが重要といわれるが、(株)三洋工事は、自動車、鉄道、産業用機械、インフラなど、創業以来、戦略的に多分野にわたって製品供給を行っている。また、品質方針として、第一に「顧客ニーズを完全に達成すること」、第二に「人材教育」を掲げ、さまざまな分野の多様な顧客ニーズを完全に達成することを目指し、設備投資だけでなく、継続的な人材育成や技術力向上に努めている。

昨今、汎用品が海外調達にシフトし、国内企業では高水準でワンストップ対応できることが要求される。同社は、板金・製缶業務に高い技術やノウハウを保有しているが、一部の工程はボトルネックとなっていた。そこで、当該工程の生産性および技術力向上を図り、高次元のワンストップ提供実現に向けた取り組みを進めた。

取り組みの目標

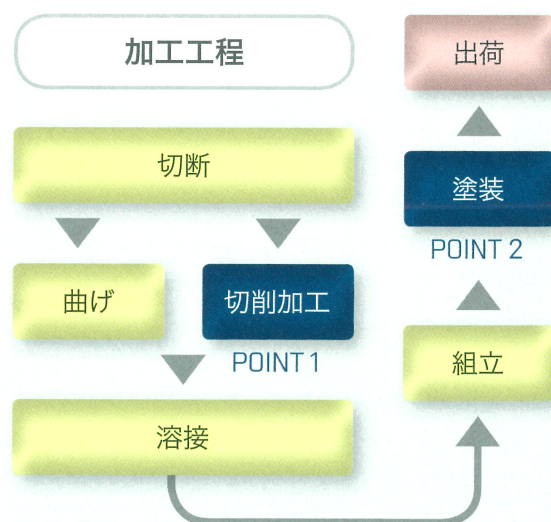
- 塗装に関する生産リードタイムの削減
- 金属部品および塗装に関するコスト削減
- 塗装の技術の確立

取り組み内容

同社は精密板金加工において、ワンストップ体制を採る。板金・製缶業界において設備投資を積極的に行い、溶接技術をはじめとした有資格者の育成にも力を入れ、顧客の要望に応じている。

一方、全工程の中で切削加工工程、塗装工程にお

いて、一部外注委託をしており、生産リードタイムやコストの面でボトルネックとなっていた。また、塗装技術に関し、塗装難易度が非常に高いものにおいては、対応困難なものも生じている。そこで当該2工程において内製化を促進し、一貫生産体制の強化を行った。



POINT1：加工した製品



POINT 1

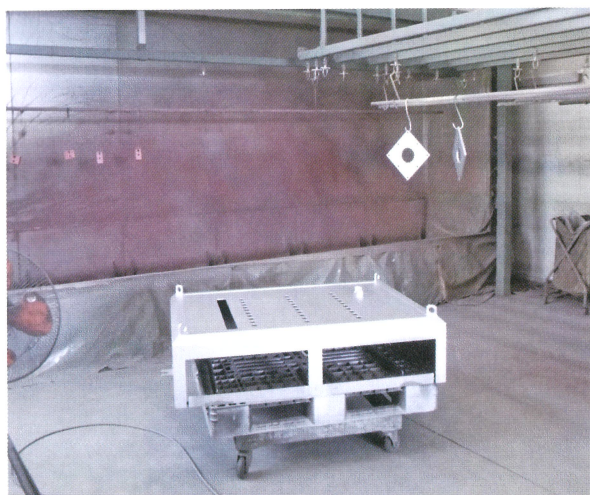
精密板金のワンストップ体制の強化

NC旋盤を導入して切削加工の内製化を拡大した。これにより、コスト削減だけでなく、溶接工程に合わせた切削加工が可能となり、製品品質の向上および生産リードタイムが改善され、平均3日の納期短縮が実現。顧客要求に対応できる体制が強化された。

POINT 2

塗装技術向上による対応領域の拡大

塗装設備導入により、コスト削減、約50%の納期短縮だけでなく、焼き付け塗装の品質が向上。対応領域が拡大し、一部特殊塗装を除き、顧客要求のほとんどが自社内で対応可能になった。特殊塗装においても一定程度の設備が整い、人材育成を経て今後も対応を進めていく。



POINT2： 塗装設備

株式会社三洋工事

●事業内容

精密板金加工のワンストップ提供、製缶加工、機械組み立て等

●主要生産設備

レーザー加工機、NCタレットパンチプレス、パンチ・レーザー複合機、プレスブレーキ、CAD・CAM、スポット溶接機、MAG溶接機等

所在地：〒671-1574 兵庫県太子町松ケ下184

T E L：079-277-5505

F A X：079-277-5494

設立：昭和48年4月

代表者：代表取締役 南 隆

従業員数：49人

資本金：1,000万円

<http://www.sanyo-koji.com/>

同社の強み

幅広い分野の精密板金加工にワンストップ対応できる技術と、顧客ニーズの完全達成を目指す人材の対応力

Comment

専務取締役 中塚 智哉氏

完全なる顧客対応を目指し
社内体制の向上へ

当社は「顧客ニーズの完全なる達成」を第一に、人材育成と技術力向上に取り組んでいます。顧客は多岐にわたり、それぞれの業界でニーズは異なります。そのニーズを完全に満たすためには、自社内で完結できる高い技術力が必要とされています。また、さまざまな製品の生産が海外へシフトしていることから、単に汎用品を数多く作るだけでは競争に勝てません。当社では、お客さまに（納期・コスト・品質ともに）高次元なワンストップ対応をすることで、競争力を強化していきたいと考えています。

今回の設備投資では、納期短縮・コスト削減に加え、対応できる範囲の拡大につながりました。しかし、当社が求める目標はまだまだ先にあります。塗装に関して、顧客ニーズの8割程度が自社で対応可能だと思いますが、残り2割の非常に高レベルな特殊塗装を行うことは、まだできません。顧客ニーズの完全なる達成を目指す場合、その領域まで技術の向上を図り、提供できるようになる必要があります。それこそが今後の競争力強化につながるから、今後は当社が得意とする人材育成をより強化し、さらなる高次元の一貫生産体制を構築していきたいと考えています。